

平地方に稀な降雹

大雷雨と共に地上眞白に

平町地方に十八日午後二時五十分頃から最近に稀な大雷雨と共に約三十分間に亘り一面に眞白になつたのがためふくらんだ櫻の蕾や咲残つた梅などは滅茶々に振落とされて惨たんたるものがあつた農作物には被害は少い模様であるが近年に稀な降雹とあつて老人連も驚いてゐる

多 追善素諾

廿一日住吉屋で

平喜多會では来る二十一日午後一時自宅出棺九品寺に於て告別式を執行すると因に故人は文久三年十二月金物商を営む先代久太郎氏の長男に生れ幼にして父を失ひ後家督を相続不拔夙に商界に馳騁し現在東北第一の金物商と唱導され今日この資産を積むに至つた、基礎は故人の頭腦明敏にして商略に長ける手腕の磨らされた結果である、平町今日の發展の上にも氏の物質的援助の力多く大正九年其功に依つて紺綬褒賞を賜る幾度か貴族院多額納税議員に擬せられ遂に其事を見ずして長逝したのは一般の惜しむ處である、唯茲に守次、元三郎の兩子息が同家の大黒柱として盤石の強みを加へ何等後顧の憂ひなきは故人の靈を慰むるに餘りあるであらう

怖い、留置場に

女生徒膽を冷す

平第二小學校高等科の女生徒卒業期が近づいたので將來家庭の人となつたとき最も感ぜらるゝ一般常識の涵養にと目下毎日各受持先生に引率され市内の裁判所役場病院、銀行、郵便局、停車場、警察等を視察してゐるが十八日午前十一時頃餘り希望せぬ生徒もあつたが留置場とはどんな所か好奇心から見たかものが多いので半署にやつて来たまではよかつたが怖い叔父さんが深山ゐるのに先づきも冷してしまひ眞正面から見るところか恐ろしさに耐えず逃げる様に駆けぬける有様をりのはなかにゐた二名の賣春婦は何學が始まつたかと目を丸くしてゐる珍景

玄米を賣て

酌婦と遊ぶ

石城郡小川村字下小川萩野次郎(九)假名は石城郡大野村字駒込鈴木清方に奉公中清の命により過日玄米六俵を賣却しその金五十餘圓を持つて逃走中、四ツ倉等に於て遊興し昨夜も平町南町飲食店弓屋に登樓遊興中平署桑原刑事に捕縛された

荷物持逃げ

直ちに捕る

石城郡赤井村字小玉村發電所土下永島五郎(三)は十七日午後七時頃平驛待合室で傍に置いた衣類敷点入の風呂敷包をコソソリ持ち逃げする年餘五十才位の男を取押へ平署に突出したが右の者は赤井村福島炭礦坑夫長屋居住行商佐藤今朝吉と判明した

他人の判で

百圓の借金

平町仲町横山キク(四)は昨年十月二日茨城縣多賀郡磯原町字木更入内喜助(三)に金百圓を貸與したが其後大

諸橋久太郎氏逝く

平町の黒柱

堅忍不拔の其生涯

平町五丁目金物商釜屋本店主諸橋久太郎氏は今から九年前の松ヶ岡に於ける忠魂祭に参列瀕瀕血の症状を呈して依り健康勝れずひたすら藥餌に親しんで居たが数日前から俄然病勢重まり遂に昨日午後八時子息守次夫妻其他近親者に見守られて睡るが如く長逝した享年六十八歳

盗んで着た

ジャケツ

物干で露見

石城郡内郷村綴字一ノ坪三日五時頃夫島山(三)は去る一月三日午後四時頃同村大字白字水字津井地雜貨商大越タカ方表軒下物干棹に掛けてあつたジャケツ一枚價格五圓五十錢を盗取し毎日着用してゐたが本月十六日これを自宅表物干棹に掛けて置いたのを午後二時頃戸口調査に行つた同村駐在巡查に發見取押へられた

天神山で賭博

四名が花合

石城郡湯本町字上町土木業越智新一(三)内郷村高坂字立野日雇雜夫小室庄三郎(三)湯本町字湯本日雇業堀内寅治(三)警崎村字上湯永井無職加藤木秋次郎(三)の四

自動車の事故

平町新町尼子自動車部運轉手片山政清(二)は去る十六日午後七時頃乗合自動車運轉し湯本町より平町方面へ向つて進行中内郷村綴字下園道にて反對の方向より來つた湯本町鈴木自動車部の乗合自動車より下車した内郷村大字白字川平永田伊太郎(三)の左足内疎に全治一週間の傷を負はせた

久月の雛人形

東京に於ける雛人形の製造元として有名な「久月」にては目下平町郵便局隣りに出張販賣所を設け雛人形及びその道具一式を賣出中であるが製造元から直接の販賣である爲めに優良品が比較的廉價であると

耳の兎

妻の價百七十圓、パリに住むマルセルンピツクといふロシア人の労働者は細君を他人に賣り飛ばしたかどで禁錮一ヶ月罰金四圓を申渡された、細君の値段は百七十圓、これは彼のアメリカ行の旅費に當て、やらうとしたものださうだ買手のエストニアの男は罰金を八圓言渡された如何に法律の完備を誇るフランスでも細君賣却罪といふのがないので不法商取引といふ罪を適用した

平局新廳舎の外観は殆ど完成

八月頃移轉の豫定

平町郵便局は工費約二十萬圓を以て工事中であつたが外観は殆ど完成を見八部通りは竣工したので本月下旬には最も難關な電話工事も出来あがる筈で七月中旬か八月上旬には新廳舎に移轉する豫定である

佑賢の卒業式

日午前九時より第十七回卒業式を舉行する小町舊城跡佑賢學舎卒業生氏名左の如くである(五十音順)

- △本科卒業生 阿部義長、稻葉勝藏、岡本良太郎、大平正男、小野原、小川善佐、上遠野丈夫、上遠野一、木村忠男、菊地健英、草野政雄、熊澤左司、草野正三、楠田弘、小泉勝夫、小林武義、小泉高正、佐藤博、酒井敏雄、下河邊仙二郎、下藤正、白土光一、鈴木將夫、高橋兵吉、永山一三、長沼英夫、新妻忠、箱崎孝一、林忠行、滿山喜一郎、村山三男、山本宗太郎、山野勝男、吉田耕三、渡邊吉、渡邊富實、渡邊長雄、明智竹代、大友ミヤ子、大平トヲ、明智竹代、

普通科卒業生

- 愛川松義、相川武男、網掛博正、石井榮太郎、遠藤榮治、泉名、泉七郎、猪狩久、海老名政雄、伊藤茂明、伊藤正次、鶴沼利雄、太田正水、岡部一雄、大谷正平、加藤朝司、萬波見卓爾、草野忠平、小沼三也、佐川記、佐藤弘、志賀政美、志賀幸雄、志賀寛、樋口次郎、鈴木銀月、鈴木重敏、鈴木仁、鈴木重郎、住谷三男、關正雄、新妻留雄、根本正、長谷川、松村勇、橋本忠、福田繁、明矢吹三郎、矢吹農夫、山名茂、山野邊徳治、山下弘明、吉野富彌、吉田菊衛

客引の嚴禁

再び嚴重に

平署では平町の飲食店主を再び同署に集めて取締規則に關し嚴重訓示を與へたが其後規則に違反する者多く殊に酌婦の客引を嚴禁したるに拘らず最近では再び街路に出て客引を爲す者が多くなつたので本日午後一時より同署に飲食店主一同を集め右規則に關し訓示すると同時に酌婦は街路に近き室に置かざる様申渡した

新妻氏明雲堂

平町紺屋町新妻眼科醫院新妻幸之助氏は今回都合に依り田町驛前明雲堂眼科醫院と合併し同醫院に於て一般診療に従事する事となつた

平町人事

▲出生
△撫地小路一金正裕氏五男昭平

明日の天気 北西の風 晴れ後次第に曇る

募集 文藝其他投稿を募集します